

# 教会史上（使徒時代から宗教改革前まで）

担当: 藤井 義生

## Aコースの概要

本クラスでは使徒時代から宗教改革前までのキリスト教の成立と発展を学ぶ。

## B コースの目的

このコースを取ることによって生徒は次のことができるようになる。

1. 地上の神の民として、過去の教会の成功と失敗から謙虚に学ぶ。
2. 他者（カトリック、英国国教会、正教会、改革派、ルター派、再洗礼派、メソジスト派、バプテスト派、ペンテコステ派など）を理解し、対話できるようになる。
3. 所属する地方教会の教会政治、聖礼典、礼拝（新聖歌）、宣教方法、の特色と意義を深く理解し、所属教会への愛と献身を深める。

## C 関連のある他のクラス

1 MB歴史、2 教理史、3、解釈学、4 組織神学、5 霊性神学、6 礼拝と音楽、7 宣教学

## D クラスの流れ

課題発表、ディスカッション、講義

## E テキスト、参考文献、

- ・ キリスト教史 上巻／フスト・ゴンザレス

## E コースの課題

以下の課題を教師と生徒全員にメール配信する。(Word文書 12ポイント、発表の前日 午後6時まで)

\*すべてのレポート脚注に参考文献を明記してください。(剽窃 ひょうせつ 防止)

例 フスト・ゴンザレス『キリスト教史 上巻』(新教出版社、2002年) 313-4頁

\*3行以上のインターネットのコピーは不可です。なるべく自分の表現を用いてください。

### 1 小レポート(40%)

各章の人物あるいは出来事を一つ選び概要とコメントをする。

(A4 1ページ、合計8回発表)

### 2 授業参加度 全回(10%)

エアコン、プロジェクター・ホワイトボードの準備、ディスカッションへの参加を期待しています。

3 中間レポート（30%）以下の内から関心のあるテーマを選択し、レポートしてください。  
（12pt A4 4-5ページ、期限：7月2日（木）午後6時  
分かち合い 7月3日（金））

- A キリスト教徒の生活 B アタナシオス C 使徒信条 D フランシスコ・ザビエル  
E イスラム教徒に対する私たちの態度 F 修道院制度 G 殉教 H グノーシス主義  
I コンスタンティヌス（教会と国家） J 聖書正典 K 古代教会の宣教  
L アウグスティヌス M 三位一体 N ニカイア公会議 O ドナトゥス派（正統と異端）  
P 芸術、建築 Q 女性の活躍 R 古代教会の聖餐 S その他

#### 4 教会史ミニセミナー開催・開催レポート（20%）

中間レポートに基づき、それぞれのテーマで所属教会（礼拝後の短い時間、教会学校、各部会など）で30-60分のミニセミナーを開く。（内容：発表と質疑応答）開催後レポートを提出する。このレポートには、宣伝方法、開催時間、場所、参加者人数、発表の方法（模造紙、パワーポイントなど）、聴衆の反応、反省を含めてください。

#### Gコースの評価

60点以下はFで取り直し。（A+98、A95、A-92、B+88、B85、B-82、C+78、C75、C-72、D+68、D65、D-62、F60）

#### Hスケジュール（変更の可能性あり）

##### 第一回

- 1課 序  
2課 時が満ちて

##### 第二回

###### 第I部 古代教会

- 3課 エルサレム教会  
4課 異邦人への伝道  
5課 国家と最初の戦い

##### 第三回

- 6課 二世紀の迫害  
7課 信仰の弁明  
8課 キリスト教から派生した宗教

##### 第四回

- 9課 教会の教師たち  
10課 三世紀の迫害  
11課 キリスト教徒の生活

## 第五回

12課 大迫害と最後の勝利

## **第Ⅱ部 帝国の迫害**

13課 コンスタンティヌス大帝

14課 公神学 カイザリアのエウセビオス

## 第六回

15課 反動としての修道院制度

16課 反動としての分派

17課 アレイオス論争とニカイア公会議

## 第六回

18課 反動としての異教の復興 背教者ユリアヌス

19課 アレキサンドリアのアタナシオス

20課 カップドキアの偉大な教父たち

## 第七回

21課 ミラノのアンブロシウス

22課 ヨアンネス・クリュソストモス

23課 ヒエロニムス

## 第八回

24課 ヒッポのアウグスティヌス

25課 古代の終焉

## 第九回

## **第Ⅲ部 中世の教会**

26課 新しい秩序

27課 東方教会

## 第十回 中間レポートの分かち合い 小レポートの発表はなし

28課 帝国の再建と相次ぐ教会の墮落

## 第十一回 教会史ミニセミナーの分かち合い 小レポートの発表はなし

29課 教会刷新の働き

30課 対イスラム戦争

## 第十二回

31課 中世キリスト教の黄金時代

32課 中世の崩壊

## 第十三回

33課 宗教改革への胎動

34課 ルネサンスとフマニスムス

## 第十四回

## **第Ⅳ部 植民地主義のキリスト教の始まり**

35課 スペインと新世界

36課 ポルトガルの植民地政策